

平戸市議会だより

とかいせん



新たな議会の取り組み 質問席の設置・議会中継がスマホで視聴可能に!!

新たに質問席が設置されました

これまで、一般質問は、各議員が主に自席で質問をしていましたが、平成28年3月定例会から新たに質問席を設置したことで、議員と理事者の距離が近くなり、より臨場感、緊張感が増した中で、質問や答弁が行われるようになりました。

また、質問している議員が一目で分かるようになりました。今後も市議会の熱い論戦にご期待ください!

スマホ・タブレットでも議会中継が視聴できます

本会議・委員会当日の生中継や、録画中継を行なっていますので、ぜひご覧ください。(※スマホ・タブレットでの録画中継の視聴は、平成28年3月定例会から可能です)

3月定例会報告 第48号

平成28年5月1日発行

3月定例会で審議された案件と結果等	2~3
3月定例会 ここに注目	4
平成27年度 政務活動報告	5
平成28年度当初予算関係	6~7
委員会活動報告!	
総務常任委員会	8~9
産業建設常任委員会	10~11
文教厚生常任委員会	12~13

市政を問う! 11名の議員が一般質問に登壇

吉住威三美議員、近藤 芳人議員	14
大久保堅太議員、田島 輝美議員	15
松尾 実議員、川上 茂次議員	16
松山 定夫議員、山崎 一洋議員	17
綾香 良一議員、山田 能新議員	18
住江 高夫議員	19

交通網整備対策特別委員会最終報告

トピックス!	20
--------	----

平戸のチカラ
ひびき

contents

平戸のチカラ

生月町玄関口活性化協議会編

●玄関口から地域全体を明るく!!

生月町玄関口活性化協議会取材させていただきました。

生月町玄関口活性化協議会は、平成25年7月に生月町の玄関口に位置する「ふれあい広場」「道の駅 生月大橋」「生月町博物館島の館」の3施設が連携し、生月町の活性化を図ることを目的に結成されました。



▲取材の様子

同協議会は、白月(満月の前後一週間)の日曜日に、ふれあい広場で「白月市」を開催しており、そこで、まき網船で獲れたアジを、沖で開きにした「沖漬け」や定置網の魚、加工品、農産物などを販売しています。



▲白月市でにぎわう会場

現在の会員は14名で、人口減少など地方疲弊の時代にあつて、皆で危機感を共有しつつ、白月市の他にも、地域の施設・店舗の付加価値づくりのための勉強会や世界遺産登



▲生月町玄関口活性化協議会の皆さんと

録を見据えた「中江ノ島モーターツアー」や地域マップ作りなどの活動を行なっているそうです。今後は、生月町の玄関口が、地域に住む人も、生月の魅力に惹かれ立ち寄る人も一緒に「美しい自然と史跡資源を生かしたふれあいの場」となる楽しい地域づくりを目指したいと意欲的に語っていただきました。

〔取材・議会広報特別委員会〕
市民と行政のパイプ役とは?

市議会からのお知らせ

議会を傍聴しましょう

本会議(定例会、臨時会)はどなたでも自由に傍聴することができます。どうぞ、お気軽にお越しください。また、市議会ホームページで本会議(定例会、臨時会)のインターネット生中継・録画中継を行なっています。

※傍聴するときは、傍聴席入口で受付(住所・氏名等を記入)を済ませてから入室してください。



プロ野球観戦に心地いい季節となり、ますますスポーツニュースに目がいきます。3割バッテリーは一流の証。随分前に「広報は、対象者の3割が興味を持って目・耳にしてもらえれば、一応の成功と考えてよい」と聞いたことがありますが、はて、議会だよりはどの程度か。古来、情報は生き抜くための最重要課題の一つでした。信長、家康然り、平戸松浦氏然り。現代において、その重要性は増すばかり。しかし、多忙な社会。情報が氾濫し、また、いつでも調べられること等から、かえって無頓着になったり、大切なことを見逃すことになりがちです。議会だよりは、情報源として役立つので、ぜひ。何度か「議会だよりだけは見ているよ」と言われ、そのときは広報委員であり喜んでいましたが、一議員として喜ばしさを感じたことを覚えていきます。「人は見たいと思うものしか見えない」という有名な言葉があります。議会人、また広報に携わる者として心しつつ、一人でも多くの市民が読んでくれる議会だよりであることを願っています。(山内政夫委員)

ひびき

議案番号	件名	結果
21	平戸市立病院使用料等条例の一部改正について	原案可決
22	平戸市市営交通船利用条例の一部改正について	〃
23	平成27年度平戸市一般会計補正予算(第7号)	〃
24	平成27年度平戸市給与管理特別会計補正予算(第2号)	〃
25	平成27年度平戸市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	〃
26	平成27年度平戸市介護保険特別会計補正予算(第3号)	〃
27	平成27年度平戸市電気事業特別会計補正予算(第1号)	〃
28	平成27年度平戸市水道事業会計補正予算(第3号)	〃
29	平成27年度平戸市病院事業会計補正予算(第2号)	〃
30	平成27年度平戸市交通船事業会計補正予算(第2号)	〃
31	平成28年度平戸市一般会計予算	〃
32	平成28年度平戸市国民健康保険特別会計予算	〃
33	平成28年度平戸市後期高齢者医療特別会計予算	〃
34	平成28年度平戸市介護保険特別会計予算	〃
35	平成28年度平戸市農業集落排水事業特別会計予算	〃
36	平成28年度平戸市宅地開発事業特別会計予算	〃
37	平成28年度平戸市あづち大島いさりびの里事業特別会計予算	〃
38	平成28年度平戸市電気事業特別会計予算	〃
39	平成28年度平戸市駐車場事業特別会計予算	〃
40	平成28年度平戸市工業団地事業特別会計予算	〃
41	平成28年度平戸市水道事業会計予算	〃
42	平成28年度平戸市病院事業会計予算	〃
43	平成28年度平戸市交通船事業会計予算	〃
44	平戸市過疎地域自立促進計画の策定について	〃
45	平戸市辺地に係る総合整備計画の策定について	〃
46	平戸市辺地に係る総合整備計画の変更について	〃
47	市有財産の無償譲渡について	〃
48	人権擁護委員候補者の推薦について	支障なし
49	平戸市副市長の選任につき同意を求めることについて	同意
議案議番号	件名	結果
1	無電柱化の推進に関する法整備を求める意見書について	原案可決

議案－議員別賛否一覽

議案番号	件名	結果	議員																	
			大久保堅太	神田全記	松尾実政	山内一洋	山崎博徳	平石芳人	近藤威三	吉住輝美	田島能新	山田良一	綾香義昭	山内清二	山本芳久	竹山俊郎	松山定夫	松瀬清茂	川上高夫	住江賢治
議案第5号	平戸市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	平戸市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	〃	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	平成27年度平戸市一般会計補正予算(第7号)	〃	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	平成28年度平戸市一般会計予算	〃	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	平成28年度平戸市国民健康保険特別会計予算	〃	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

- は賛成 ●は反対 -は採決時不在 議員は議席番号順
- 議長は、職務上、可否同数の場合のみ表決します。
- この一覽は、賛否があったものについて示しています。

平成28年3月平戸市議会定例会会期日程

月日	曜日	種別	内容	備考
3月7日	月	本会議	開会、議案説明	
8日	火	休会	(議案研究)	
9日	水	本会議	一般質問	
10日	木	本会議	一般質問	
11日	金	本会議	一般質問、議案質疑	
14日	月	委員会	付託案件審査(文教、総務)	
15日	火	委員会	付託案件審査(文教、総務)	
16日	水	委員会	付託案件審査(産建)	
17日	木	委員会	付託案件審査(産建)	
18日	金	休会	(議事整理日)	
21日	月	休会	(春分の日)	
22日	火	休会	(議事整理日)	
23日	水	休会	(議事整理日)	
24日	木	本会議	議案審議、閉会	

※総務…総務常任委員会 産建…産業建設常任委員会 文教…文教厚生常任委員会
※土日は省略

平成28年3月定例会が3月7日から24日までの18日間の日程で開かれました。

平成28年度一般会計予算案など報告4件、承認1件、議案49件が上程され、原案のとおり承認および可決しました。

また、議案議1件を可決しました。

3月定例会で審議された案件と結果

報告番号	件名	結果
1	専決処分の報告について	報告済
2	専決処分の報告について	〃
3	専決処分の報告について	〃
4	公益財団法人平戸市振興公社の経営状況を説明する書類の提出について	〃
承認番号	件名	結果
1	専決処分の承認を求めることについて	承認
議案番号	件名	結果
1	平戸市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決
2	平戸市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部改正について	〃
3	平戸市特別会計条例の一部改正について	〃
4	平戸市平戸市役所駐車場条例の制定について	〃
5	平戸市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	〃
6	平戸市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	〃
7	平戸市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	〃
8	平戸市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	〃
9	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	〃
10	平戸市行政不服審査法の規定による提出書類等の写し等の交付に係る手数料に関する条例の制定について	〃
11	平戸市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	〃
12	平戸市総合計画策定条例の制定について	〃
13	平戸市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部改正について	〃
14	平戸市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例の一部改正について	〃
15	平戸市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃
16	平戸市放課後児童健全育成施設条例の制定について	〃
17	平戸市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の制定について	〃
18	平戸市手数料条例の一部改正について	〃
19	平戸市社会体育施設条例の一部改正について	〃
20	平戸市火災予防条例の一部改正について	〃

平成27年度 政務活動報告

調査、研修を 市政に 活かす!!

政務活動費とは、市政に関する調査研究その他の活動に資するために必要な経費の一部として、会派に対し所属議員数に応じて交付されるものです。（1人当たり年額12万円）

全ての報告は、議会事務局にて閲覧できます。

会派名	研修者氏名	研修・調査内容	研修地・開催地
政光会	松瀬 清	・交流事業について	北海道枝幸町 枝幸町役場
	吉住 威三美	・水産物のブランド化と資源管理について	
志士の会	山内 政夫	・低炭素むらづくりの取り組みについて	北海道士別市 士別市役所 (士別市バイオマス資源堆肥化施設)
	辻 賢治	・薬用植物の栽培について	佐賀県玄海町 玄海町薬用植物栽培研究所
	田島 輝美	・薬用栽培の取り組みについて	福岡県福岡市 新日本製薬(株)
市民クラブ	松尾 実	・薬草及び機能性植物の栽培について	佐賀県佐賀市 佐賀大学農学部附属 アグリ創生教育研究センター
	竹山 俊郎		
一心会	松崎 義昭	・イカの活魚輸送について	長崎県佐世保市 (株)古川電機製作所
	山内 清二	・クエの養殖について ・タコの増殖手法について ・水産加工開発指導センターについて	長崎県長崎市 長崎県総合水産試験場
平戸志誠会	近藤 芳人	・児童館、児童センターおよび放課後児童クラブの運営状況について	長野県上田市 上田市教育委員会
	山本 芳久	・地方創生関連の平成28年度概算要求の水産関連予算について	東京都千代田区 農林水産省
立志会	川上 茂次	・オガールプロジェクトについて (町有地への民間資本活用事例)	岩手県紫波町 オガール紫波(株)
	綾香 良一	・地方創生の概要と平戸市への適用の可能性および平成28年度国の予算の概要研修	東京都千代田区 内閣府・農林水産省
共産党本	山崎 一洋	・ベネッセアートサイト直島について (芸術によるまち興し事例)	香川県直島町 ベネッセハウス (株)直島文化村
		・光回線を活用した人口流入戦略について	徳島県神山町 特定非営利活動法人 グリーンバレー
		・市民と議員の条例づくり交流会議 in 九州2015 (公開研修会)	福岡県福岡市 博多南地域交流センター (市民と議員の条例づくり交流課意義事務局)
		※ 政務活動費の使用なし	
		※ 政務活動費の使用なし	

3月定例会 ここに注目!

注目①

●平戸市役所駐車場条例を制定しました。

市役所駐車場の目的外駐車および長時間駐車等を解消するため、市役所利用者以外に対し、市役所玄関前駐車場と第2駐車場の有料化を実施。

【駐車場の名称、位置および収容台数】

名称	位置	収容台数
平戸市役所駐車場	右の位置図①	49台
平戸市役所第2駐車場	右の位置図②	80台



【駐車料金】 市役所利用者は無料

※市役所利用者以外は総務常任委員会報告(8ページ)をご覧ください。

【運用開始】 8月上旬(予定)

注目②

●市道沿い樹木の陰切りに地元住民と連携して取り組みます!

【事業名】 市道維持管理事業

【予算】 600万円

【手順】

- ① 自治会が要望を取りまとめる
- ② 所有者の承諾書を添えて市に要望書を提出
- ③ 市と自治会が伐採場所や実施日を調整
- ④ 市が高所作業車を使い、樹木の伐採を実施
- ⑤ 地元で樹木の収集、処分を行う



注目③

●地域・公民館との連携を強化します!

【事業名】 すみずみまで本を届ける事業

【予算】 440万8,000円

【内容】 平戸図書館、永田記念図書館を中心に、市内の公民館図書室支援や地域にサービスポイントを設けるなどして、図書館から遠い地域へ定期的に巡回し、本の貸し出し等の図書館サービスを届けようとするものです。さらに学校へ教材用資料提供等を含めた学校図書館を支援し連携を図ります。

注目④

●世帯第3子以降の保護者負担を完全無料化します!

保育所、幼稚園の保護者負担金については、平成28年4月からの国の新たな施策の発表を受け、本市ではさらなる拡充を打ち出し、平成28年度から、世帯の保護者負担については、第2子を半額、第3子以降を完全無料化します。また、世帯の市民税所得割合算額が77,100円以下において、ひとり親世帯等に該当する場合は、平成27年度の料金から第1子目を半額、第2子目以降を無料とします。



課名	事業名	事業費	摘要
生涯学習	すみずみまで本を届ける事業	4,408	図書館へのアクセスに不利な地域の住民に対し、本や情報を届けることによる図書館サービス訪問支援の強化
	平戸図書館へCOLAS事業	866	15人以上の団体を対象とした平戸図書館へのマイクロバス送迎及び定期バス実証実験
	フレンドリータウン推進事業	457	県内唯一のプロチームである「V・ファーレン長崎」との交流を通してスポーツ振興、地域活性化を推進
文化交流	歴史文化基本構想策定事業	1,427	地域に存在する文化財の保全活用ための基本構想の策定

新規のハード事業

(単位：千円)

課名	事業名	事業費	摘要
総務	本庁舎駐車場有料化整備事業	3,050	市役所駐車場及び第2駐車場の有料化の駐車場改修
企画財政	再生可能エネルギー活用離島活性化事業	3,600	再生可能エネルギー活用離島活性化基金を活用した離島振興補助(大島・度島・高島地区)(自治会公民館に太陽光発電システム導入に対する補助)
	文化センター整備事業	81,800	文化センター耐震化改修及び無線ネットワークの導入
福祉	保育所等施設整備事業	16,716	民間保育所の施設整備に対する補助
農林	平戸地区家畜診療所大島駐在所等整備事業	20,000	家畜診療所大島駐在所等の整備(新築)に対する補助
	畜産クラスター構築事業	47,570	繁殖牛30頭以上の肉用牛経営に取り組むための施設整備に対する補助
	海岸堤防等高潮侵食対策事業県工事負担金	700	高潮対策のための海岸堤防等の施設改修(薄山地区)
	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業	10,162	「農業競争力強化基盤整備事業」のための地形図作成(向月地区)
	農業競争力強化基盤整備事業県工事負担金	2,490	水田地帯及び畑地帯の農地等整備
水産	生産及び流通販売体制再構築事業	6,666	水産共同利用施設等の長寿命化にかかる改修及び更新に対する補助
	水産業競争力強化緊急施設整備事業	160,000	品質保持及び流通体制改善のための水産共同利用施設の整備に対する補助
	自然災害防止事業	20,410	新規地区：田助地区
商工物産	田平ターミナルビル改修事業	900	老朽化に伴う田平ターミナルビルの改修(平成28～29年度)
建設	交付金道路整備事業	10,100	新規路線：永久保線(平成28～31年度)
	過疎対策道路整備事業	30,000	新規路線：大浜線(平成28年度)、神宮線(平成28～30年度)
	建設海岸整備事業県工事負担金	231	老朽化海岸の開口部改修
まちづくり	美しいまちづくり支援事業	4,000	景観資産登録物件の保存整備に対する補助
教総学教	平戸小学校校舎大規模改造事業	6,000	平戸小校舎の大規模改造工事設計
	平戸幼稚園施設整備事業	3,470	平戸幼稚園の屋根改修
生涯学習	田平町中央公民館大規模改修事業	66,000	田平町中央公民館の大規模改修
	生月町開発総合センター大規模改修事業	47,000	生月町開発総合センターの大ホール舞台照明設備改修
文化交流	生月町博物館・島の館施設改修事業	37,800	生月町博物館・島の館の空調機器改修

平成28年度 当初予算関係

一般会計 272億5,000万円 (対前年度比 9.4%増)
特別会計 111億3,615万円 (対前年度比 2.3%増)
公営企業会計 58億2,747万円 (対前年度比 19.1%減)

ここでは、新規事業(ソフト事業26件、ハード事業22件)について紹介します。

新規のソフト事業

(単位：千円)

課名	事業名	事業費	摘要
総務	行政不服審査制度運営事業	767	新行政不服審査制度開始に伴う審査会の運営
	本庁舎駐車場有料化整備事業	5,184	市役所駐車場及び第2駐車場の入出庫管理
企画財政	総合計画策定事業	5,720	総合計画(平成30～39年度)の策定
	再生可能エネルギー活用離島活性化事業	1,400	再生可能エネルギー活用離島活性化基金を活用した離島振興補助(大島・度島・高島地区)
	総合戦略推進事業	148	総合戦略各施策を推進する上での進捗状況検証
福祉	地域生活支援事業(通学支援事業)	8,800	障害児の特別支援学校への通学の支援
	高齢者ホームヘルプサービス事業	873	2次予防対象者となっている高齢者に対する日常生活の支援
農林	(仮称)平戸市産業振興公社設立準備事業	1,000	(仮称)平戸市産業振興公社設立に向けた事前調査
	畜産クラスター構築事業	1,650	繁殖牛30頭以上の肉用牛経営に取り組むための繁殖雌牛導入に対する補助
	木質バイオマス供給体制整備準備事業	788	木質バイオマス供給体制整備に向けた検討
水産	地域重要資源維持・回復支援事業	4,320	漁業生産を支えるための栽培漁業や資源管理型漁業に対する補助
	藻場回復等総合推進事業	1,500	藻場の維持・保全活動に取り組む活動組織に対する補助
	1次産業魅力発見事業	2,500	水産業イメージアップのためのプロモーションビデオ作成及び発信
商工物産	まちなかビジネスチャレンジ事業	2,320	新規出店希望者に対する空き店舗等を活用したチャレンジショップとしての提供
	平戸ブランド東アジア進出事業	3,000	東アジア地域における平戸産品のプロモーション及び販路開拓の可能性の検証
観光	観光マーケティング調査事業	3,610	大学と連携した観光の現状分析、近隣観光地との対比、学生による旅行商品化等の調査
	公共交通機関等利用促進事業	14,200	個人旅行者を対象とした2次交通アクセス対策
	観光用電動アシスト自転車整備事業	1,168	観光客に提供するための電動アシスト自転車の整備
	観光人材育成プログラム事業	3,610	市内宿泊施設等の接客能力の向上と、大学生を研修生として受入れる事による観光人材の発掘
	センサ・マイクロマシンシンポジウム開催支援事業	2,206	「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム開催に対する補助
消防	度島地区消防力向上事業	312	常備消防未設置地区である度島地区の消防力向上のための関係機関訓練及び研修
教総学教	イングリッシュ・タウン事業	5,045	英語に集点化した教育環境づくり

総務常任委員会

委員会開催日 3月14・15日
(文責・田島輝美委員長)

比べて場内が暗くなるため高

齢者等の事故が懸念されること、各階に車両の昇降移動スペースを一定必要とするため、見込むほどの駐車台数が確保できないこと等の理由から、出入庫口の改修に留めるとのことであった。

本委員会は、駐車場の整備が、慢性的な駐車場不足の打開策となるように、庁舎玄関周辺での公用車駐車にも一定のルールを設け、モラルに反した駐車を抑制する仕組みづくりを求めた。

【総務部総務課】

●議案第31号「平成28年度平戸市一般会計予算」

▼情報セキュリティ緊急対策事業

自治体内の情報ネットワーク環境を分割することにより、セキュリティを強化し、情報システムの強靱性向上を図る。本委員会は、マイナンバー制度の運用に関しては、個人情報情報の漏洩問題等もあることから、個人情報保護対策については、早急かつ万全の対策を講じ、市民の不安を払拭するよう求めた。

【総務部行革推進課】



▼再生可能エネルギー活用離島活性化事業

大島・度島・高島地区において、離島の特性を生かしたまちづくりの推進と地場産業の振興、また、格差是正を図るために、(1)交通体系の整備

備考

- 1 「普通自動車」とは、道路交通法施行規則（昭和35年総理府令第60号）第2条に規定する普通自動車であって規則で定めるものをいう。
- 2 「自動二輪車」とは、道路交通法施行規則第2条に規定する大型自動二輪車及び普通自動二輪車をいう。
- 3 「原動機付自転車」とは、道路交通法（昭和35年法律第105号）第2条第1項第10号で定めるものをいう。
- 4 「自転車」とは、道路交通法第2条第1項第11号の2で定めるものをいう。
- 5 「開庁日」とは、月曜日から金曜日までの日をいう。ただし、平戸市の休日を含め、条例（平成17年平戸市条例第2号）第1条第1項第2号及び第3号に定める日を除く。
- 6 「閉庁日」とは、前号に定める日以外の日をいう。
- 7 普通自動車の駐車時間が午前8時又は午後6時（開庁日に限る。）の前後にまたがる場合において、当該時点をまたがる30分又は1時間については、利用者の区分に応じ、次に掲げる使用料を徴収する。
(1) 駐車時間が午前8時の前後にまたがる1時間 閉庁日の使用料。ただし、駐車時間が午前8時に到達した時点で、閉庁日の24時間までごとの上限額に達している場合は、午前8時までは閉庁日の使用料を、午前8時以後は開庁日の使用料を徴収する。
(2) 駐車時間が午後6時の前後にまたがる30分 開庁日の使用料

今回、本委員会に付託を受けました案件は、承認1件、議案22件で、審査の結果、原案のとおり承認および可決すべきものと決定しました。
ここでは、特に審査の中で出された主な意見、要望などをお知らせします。
(一) (一) は所管課名)

●議案第4号「平戸市平戸市役所駐車場条例の制定について」

市役所駐車場の目的外駐車や長時間駐車等を解消する手立てとして、市役所利用者以外に対し、市役所玄関前駐車場および第2駐車場の有料化を図る。

第2駐車場と公用車駐車場の一体化や立体駐車場化によって駐車台数を増やす考えはなかったのかとの質問に対し、一体化は、駐車場の高低差解消に費用が生じること、立体駐車場化は、平面駐車場に

車両の種類	日	区分	使用料	
			平戸市役所駐車場	平戸市役所第2駐車場
普通自動車	開庁日	市役所利用者	無料	無料
		市役所利用者以外の者	(1) 午前8時から午後6時まででは、最初の60分を200円とし、以後30分ごとに100円を加算する。 (2) 午後6時から翌朝8時まででは、最初の60分を100円とし、以後60分ごとに100円を加算し、最大で500円とする。	(1) 午前8時から午後6時まででは、最初の60分を100円とし、以後60分ごとに100円を加算する。 (2) 午後6時から翌朝8時まででは、最初の60分を100円とし、以後60分ごとに100円を加算し、最大で500円とする。
	閉庁日	市役所利用者	無料	無料
		市役所利用者以外の者	午前8時から翌朝8時まででは、最初の60分を100円とし、以後60分ごとに100円を加算し、最大で500円とする。	午前8時から翌朝8時まででは、最初の60分を100円とし、以後60分ごとに100円を加算し、最大で500円とする。
自動二輪車 原動機付自転車 自転車	全日	市役所利用者	無料	無料

制度の周知徹底を図るよう求めた。

【財務部企画財政課】

に関する事業(2)地場産業の振興に関する事業(3)再生可能エネルギーおよび省エネルギー施設の整備に関する事業(4)次代を担う人材育成に関する事業の4事業に対し助成を行う。

▼地域おこし協力隊導入事業

事業には、行政が求める「まちづくり業務」と、隊員が描く「まちづくり活動」に乖離が生じている感が否めない。委嘱する仕事の内容に相互理解が乏しいことや配属の部署や地域において受入れ体制が十分に機能していないことが継続した委嘱に繋がらない一因となつてはいないか苦言を呈した。

本委員会は、本事業が目指

【総務部地域協働課】

すところの一つに「定住」があると考え、これには、地域おこし協力隊が受け持つ任務や活動に充実感や達成感を見出せること、日常生活のなかに孤独感・疎外感を拭い去るような人間関係と生活環境が存在することが必須の条件となる。
よって、委嘱業務について再度明瞭に示すとともに、職員と地域住民双方の生業・起業に向けた協力・支援と地元で溶け込む応援を惜しまず、細やかに継続してサポートするよう求めた。



▲上空から見た大島村の風車

事業の窓口は、大島地区の事業については大島支所が担当し、度島および高島地区の事業については本庁企画財政課が担当する。

本委員会は、離島には避けられぬ地理的ハンディキャップがあると承知することから、本事業が大島・度島・高島地区の地域生活および産業振興に大いに寄与することを期待する。まずは3地区において



▲高岡隊員による平戸未来劇場(※)の様子



▲まちづくりについて説明する細谷隊員(写真上左)

※その時のテーマに沿った映画を観て、問題点等について協議・実践する場

●議案第6号「平戸市長、副市長および教育長の給与および旅費に関する条例の一部改正について」

同条例の第3条に掲げる給料を、市長については月額71万2千円を80万9千円に、副市長については月額59万8千円を66万4千円に、教育長については53万5千円を59万4千円に改正する。

審査にあたり県内自治体の特別職給料一覧の提示を求め、人口規模や財政規模までを含んだところで時間をかけた審議を行なった。

何をもち増額改正を妥当とするのかとの質問に対し、議員、特別職、一般職の報酬および給与については、平成18年の財政危言を機に、それぞれ減額および削減をしたものの、特別職を除く議員および一般職については既に元の額に戻していること、また、特別職の給料月額を県内他市と比較したとき、相当下位にあることであった。

また、普通交付税について、合併算定替えの終了や国勢調査の人口減が及ぼす影響等々を考慮したとき、財政運営は

今後も楽観視できないと意見した。

さらに、現在支給されている特別職給料月額、条例の定めによるものであって減給された額ではないこと、また、改正額に明確な積算根拠がないこと等を指摘した。

審議を尽くしたところで、特別職報酬等審議会の答申についても一定尊重をすべきとの見解に達し、採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定した。

なお、議案第6号には付帯決議案の提出があり、賛成多数で『今後、人口減少の抑制や本市の第一次産業などが衰退しないような市政運営、雇用や定住促進に努力を行い、また、継続的な財政改革を行なつても財政事情が厳しい状況になったときは、再度給与の見直しを行うこと』を付帯決議した。

【総務部総務課】



産業建設常任委員会

委員会開催日 3月16・17日
(文責・山本芳久委員長)

今回、本委員会に付託を受けました案件は、承認1件、議案11件で、審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

ここでは、特に審査の中で出された主な意見、要望などをお知らせします。

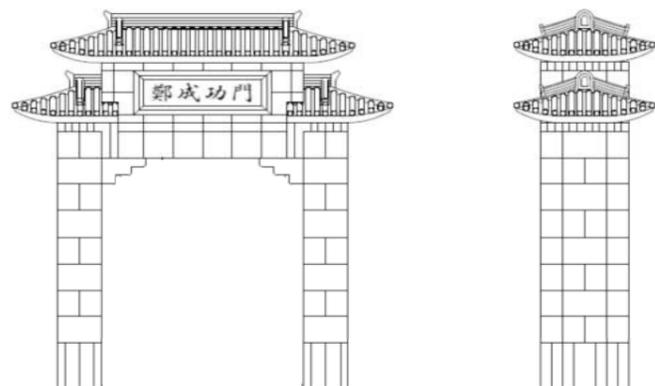
(一) (一) は所管課名)

●議案第23号「平成27年度平戸市一般会計補正予算(第7号)」

▼鄭成功記念館山門整備事業

設計業務における簡易地盤調査により、予定地の地盤が軟弱であることが判明し、杭工事が必要となったことによる増額補正であるとの説明があった。

委員からは、現場は埋立地であり地盤が軟弱であることは予想できたのではないかと、当初予算内で納まるよう変更すべきではないかとの厳し



い意見が出された。これに対し、鄭成功記念館の入館者は増加傾向にあり、さらなる観光客誘致を図る上で、地元も期待しており、安全性も考慮し現在の計画で進

めたいとの答弁があった。委員会では、設計業務にかかる事務委託を受けているまちづくり課にも同席を求め、事業内容の確認を行うとともに、今後は、今回のような複雑ではない構築物についてはまちづくり課としても複数案を検討し、経済比較などの助言を行なって事業にあたるよう強く要請した。

【文化観光部観光課】

▼鳥獣被害防止総合対策事業

平成27年度のワイヤーメッシュ柵、電気柵設置にかかる国費の割合は96・22%となり、設置者の自己負担は3・78%となったことであった。国費が下がった場合の自己負担の考え方について質問したところ、国費が9割を下回る場合は、自己負担を1割に抑えるため市が助成を行うこととしている。

ただし、市の助成の上限を3割としていることから国費が6割を下回る場合は、自己負担が1割より増えていくことになるとの説明があった。

【産業振興部農林課】



▲ワイヤーメッシュ柵設置例

●議案第31号「平成28年度平戸市一般会計予算」

▼市道維持管理事業

市政懇談会等でも要望が多い、市道の陰切りについて平成28年度より地元住民と連携し取り組んでいくための予算600万円が計上されている。具体的には、自治会が要望を取りまとめ所有者の承諾書を添えて市に要望書を提出する。

市と自治会が伐採場所や実施日を調整し、市が高所作業車を使い樹木の伐採を行い、地元で樹木の収集、処分を行うものであるとの説明があった。

私有地から伸びる樹木は、基本的には所有者が伐採すべきものではないかとの質問に対し、基本的には所有者が伐採すべきものであるが、樹木が覆いかぶさり大木となり、高齢のため対応できなかつたり、所有者がいらないなど一定の条件を満たし、即時対応できない場合に、地元と協力して伐採を行う新たな取り組みであるとの答弁があった。

【建設部建設課】

委員からは、十分な成果が得られるか疑問な点もあるが、効果的な事業となるよう取り組んでもらいたいとの意見があった。

【文化観光部文化交流課】



▲オランダ人デザイナーとの協議の様子

▼重要文化的景観保護推進事業

現在のでも月1000人程度の観光客が訪れており早期に建設したいとの説明があった。委員からは、政府が世界遺産登録の申請を一旦取り下げたことを受け、拠点施設の整備についても一旦保留すべきではないか。拠点施設の運営体制や語り部等の確保、棚田の継続的な保全など多くの課題の整理も必要であり世界遺産登録のスケジュールも考慮し慎重に検討すべきではないかとの意見があった。委員からの指摘を受け、7月下旬に予定されている推薦書の提出に向けた最終的な国の文化審議会の動向を見極め進めていきたいとの答弁があった。

【文化観光部文化交流課】



▼まちなかビジネスチャレンジ事業

市が借り上げた商店街の空き店舗で、新規出店を希望する者が、試験的な営業を行い、経営のノウハウを実践の中で学ぶことにより、開業を支援するものである。

チャレンジショップとして借り上げる空き店舗は1カ所所で、出店期間は1カ月から3カ月以内とし最長6カ月まで更新可能としているとの説明があった。

▼平戸ブランド東アジア進出事業

東アジア地域における平戸産品の販路開拓の可能性を検証するもので、プロモーション事業を展開しつつ、物流企業、関係団体等との連携のための調査、先進自治体の現地での商談会の視察、現地バイヤーとの取引条件などの調査研究を実施するものである。委員から、現在の職員体制



委員からは、出店の内容によって店舗の要件が違うところもある。また、空き店舗等活用促進事業と関連するところもあるとの意見があり、平成28年度の調査、検証は現在の人員で行い、実際の海外での取引の可能性を見出せば、(仮称)産業振興公社での取り組みも視野に入れて研究していきたいとの答弁があった。

▼国際交流振興事業

同事業のうち「東西百菓の図とオランダ茶会補助金」は、400年前に海外との交流のあった平戸で、平戸藩に伝わる百菓の図を基にオランダ人がお菓子屋をデザインし、平戸の和菓子屋がそれを再現するもので、和菓子文化を通じ平戸のPRを行うとともに、開発後は平戸銘菓として販売を行なっていく民間の取り組みを支援するものである。

また、この事業は、長崎県21世紀まちづくり総合推進補助金を活用するもので県補助が2分の1、市補助が4分の1、残り4分の1を実行委員会が負担するものであるとの説明があった。

▼重要文化的景観保護推進事業

同事業の春日拠点施設整備関係については、平成27年度に予算計上していたものの、用地交渉が難航したこと、事業認定が遅れたことにより整備できなかったために、平成28年度予算として改めて計上されたものである。イコモスの中間報告では、平戸の聖地と集落など潜伏期の価値が重視され、来訪者



文教厚生常任委員会

委員会開催日 3月14・15日

(文責・山田能新委員長)

今回、本委員会に付託を受けました案件は、議案16件で、審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。ここでは、特に審査の中で出された主な意見、要望などをお知らせします。

(一)は所管課名)

●議案第15号「平戸市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について」

全国的に保育士不足が懸念されていることから、小規模保育事業に関する部分については、准看護師、幼稚園教諭もしくは小学校教諭等についても保育士とみなす弾力化を図られるものである。本市では平成28年度に1件開設の予定があることが報告された。



【市民福祉部福祉課】

●議案第31号「平成28年度平戸市一般会計予算」

▼生活保護事業

全国で扶助費の使い方(遊興費)が問題となっており、本市の所見と対応はどうなっているのかとの質問に対し、直接禁止する法的根拠がないことからやめさせることはできないが、就労や生活改善につながるような使い方の指導を継続したいとの答弁があった。

【市民福祉部福祉課】

▼通学支援事業

県内の特別支援学校に自宅から通学する際の支援であるが、例えばサービスマン業務所が採算が合わないとして撤退したりすることはないのかとの質問に対し、単価については国が定めたものに準じているので問題ないと考えるが、具体的には今後サービスマン業務所と話していきたいとの答弁があった。

【市民福祉部福祉課】

▼幼児健康診査事業のうちフッ化物塗布事業

全部で5回の塗布機会がある中で、1歳6カ月健診以降は歯科で好きなときに受診し塗布してもらえるとということだが、実際、受診率が悪い。この傾向をどう捉えているのかとの質問に対し、保健センターとしては幼児期から歯科との「かかりつけ」関係を築いてもらうことを念頭に考えた施策であったが、結果として3歳児健診を含め、集団検診の際に行なったほうが受診率は高かった。

周知にさらなる工夫の必要があると考え、積極的に促していきたいとの答弁があった。

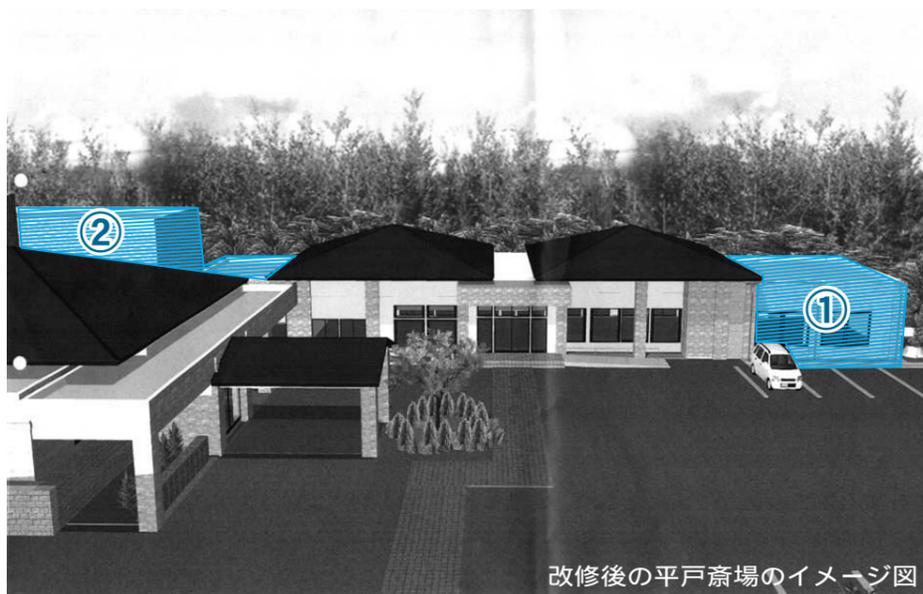
【市民福祉部保健センター】



▲フッ化物塗布の様子

▼平戸斎場施設整備事業

火葬炉、収骨室、待合室および駐車場がそれぞれ増設され、既存施設についても改修が行われるが、斎場に行くまでの改良がもう少し進まないのかとの質問に対し、あくセ



改修後の平戸斎場のイメージ図

今回の改修で、待合室①が2室の和室から4室の洋室へ、集骨室②が1室から2室に増設されます。また、火葬炉が現在の3炉から4炉へ1炉増設され、より円滑な火葬が可能となります。

【市民福祉部市民課】

▼子どもの学力の底上げ

小学校・中学校ともに「学力向上対策事業」や「ICT教育推進整備事業」等を通じて、本市の子どもの学力向上を行なっていくとの方針が示された。

その中で全国・県の平均を目標することも大事だが、勉強でつまづいている子どもも自体の学力を引き上げることはできないのかとの質問に対し、



▲ICTを活用した授業の様子

テスト等を通じて一定の学力分布は把握している。つまづいている子どもの、その弱いところを補う個別的な指導も図りながら、底上げの目標として全国の平均的な学力水準に追いつくよう教育指導を行なっていくと答弁があった。

【教育委員会教育総務課・学校教育課】

は今年の新成人者、必要があれば関係家族を含めた意見聴取を行い、可能なものから次の式典に反映させたいとの答弁があった。

【教育委員会生涯学習課】



▲初めて4地区統一して開催された成人式

▼公民館費関連

平成28年度から行政機構の一部見直しが行われ、生月・田平・大島の各分室を廃止し生涯学習課の直轄として各公民館を位置付けること。さらに、各公民館長については民間から登用する方針が示された。

このことに関して、特に一

部公民館においては、これまででは公民館長のほか所長等を兼務して地域に精通していたことから、新たに公民館長になる人についても、地域との連携を図り、生涯学習の発展に努力していただきたいと要望した。

【教育委員会生涯学習課】

●議案第32号「平成28年度平戸市国民健康保険特別会計予算」

財政調整基金の保有状況についての質問に対し、平成26年度決算で約5億2千500万円を保有している。被保険者の高齢化や医療の高度化等による医療費の増に伴い、平成27年度は基金を1億円以上取り崩す見込みである。

平成30年度には国保運営の都道府県化が予定されているが、現在の基金についてはそのまま保有できる見込みとなっている。考え方として、本市医療費にかかる1割の3億円程度は基金として今後も保有したいとの答弁があった。

【市民福祉部市民課】

●議案第34号「平成28年

度平戸市介護保険特別会計予算

高齢者が住みなれた地域で暮らし続けることができるよう支援の整備を図る「地域包括ケアシステム」の事業展開が説明された。

特に、地域協働課が進められている「まちづくり運営協議会」の健康福祉部会がメンバーとなる「協議体」を設置し連携を図ることで、地域に共通する課題解決を目指していくということ。また、生活支援サービスの充実に向けて担い手の養成・発掘等の地域資源の開発やネットワークの構築等を行う「生活支援コーディネーター」を、中学校区を基本として地区に1人配置することが説明された。

その中で、地区ごとの課題対象となる高齢者の数が違うなど、生活支援コーディネーターの負担は違ってくると思われるがどのような対処を考えているのかとの質問に対し、現状では一律の委託費を考えているが、実際に運営する中で課題を見出し検討していきたいとの答弁があった。

【市民福祉部福祉課】

市内6地区の行政経費格差は正しくいっ
平戸市立病院改革について



吉住威三美議員

市内6地区の行政経費格差は正しくいってほしい。平戸市立病院改革について、平成20年の市立病院あり方検討委員会からの答申後、8年の年月が過ぎた。今後どのようにされるのか尋ねる。

【市長】職員人件費については、職員給与費の平均値で集計すると、一番少ない地区で約4千400万円、一番多い地区で約2億900万円となり、客観的数値上で1億6千500万円の差となっていることは事実である。それぞれの地区における特性や人口規模などさまざまな要因があるのも事実であり、これらの要因を十分に検証した上で、

皆さんのご意見をいただき格差是正に努めていきたい。平戸市立病院改革について、平成20年の市立病院あり方検討委員会からの答申後、8年の年月が過ぎた。今後どのようにされるのか尋ねる。

【市長】公立病院に對しては、平成28年度中に新たな公立病院改革プランの策定が義務付けられており、しっかりとその点を踏まえながら計画を作っていくと考えている。生月病院が高機能診療所化で済むレベルではなく、

【市長】確かに診療圏人口の減少というのは現実の問題であり、生月病院が公立化として今の規模を確立した時代と違って、橋もかかって無料化になった現状の変化は理解できる。新たな公立病院改革プランの一つの柱に経営の効率化があり、黒字化を目指して経営と改革というものを見つめ直していきたい。

支所・出張所の業務状況やコストについて



近藤 芳人議員

表1の網掛け部分は12月議会での一般質問で出されたものの抜粋だが、数字の意味や比較の公平・公正さの面で多々問題がある。①窓口件数(A)は内容の違うものを同じ1件として単純に件数比較はできない。例

えば出生等の戸籍届出によりシステム上の更新(Task入力)が必要な業務を、支所は自前で行なっているが、中南部出張所は本庁職員が行なっている。②窓口件数(A)の中に税金等の収納が含まれているが、口座振替の普及が低く、滞納が多い地区は件数が多い傾向にある。表面的な件数の多寡でなくそちらを正すことが本質だ。③窓口職員数(C)は在籍人数である。実際に窓口業務を行う実工数でないとい

Table with 5 columns: 表1, 窓口取扱件数/年度 A, 窓口数 C, A/C/243日 D, 12月提示, 近藤案. Rows include 田平支所, 生月支所, 館浦出張所, 大島支所, 中部出張所, 南部出張所.

味が無い。このような視点で私なりに概算すると表1の白地の数値になる。【市長】総じて有機的に体系化し、より精緻に数値で表現された理論である。その視点での再検証は意味がある。【教育長】「B&Gは2千万円ほどの経費に対して収入が約20万円しかない」という指摘が度々あるが、人材育成のための社会教育施設を単純な貸館施設とした議論である。B&Gの理念、意義、効果を十分踏まえた教委答弁を聞いた

【市長】総じて有機的に体系化し、より精緻に数値で表現された理論である。その視点での再検証は意味がある。【教育長】「水に賢い子供をつくる」といってB&G財団の基本理念のもとに昭和61年から運営されている。海洋スポーツ等の専門的指導者を擁し、専門研修を受けた職員もいる。また、海洋クラブを組織し特色ある海の活動を行なっている。生月地区の社会体育のみならず各学校も利用している。これまでの反省も踏まえ、他にない優れた機能を有するこの施設の活用法を市全域で取り組みたい。

玄海原発と本市の関わりおよび防災対策について
子どもの貧困対策の推進体制と取り組みについて
「オランダ商館を活用したまちづくりアクションプラン」のこれまでの検証と今後の展開について



大久保堅太議員

再稼働についての情報提供はあるのか。【市長】現在、原発の適合審査中であり、再稼働

の時期は見通しが立っていない状況である。【市長】もしものときの防災対策は万全であるか。【市長】毎年、県、九州者等と原子力安全連絡会を開催し、迅速かつ効果的な災害応急対策に努めている。

【市長】資機材やインフラは年次的に整備されているが、人員増員等に係る財政措置はされていない状況である。【市長】市民にとって避難経路や手段などほとんど周知できていない。専任の職員を配置すべきではないか。【総務部長】現在のところ至っていない。【市長】「子どもの貧困対策」の取り組みは、

【市民福祉部長】親への就労支援や母子家庭等自立支援給付事業、児童手当の支給を行なっている。【教育長】要保護・準用保護児童生徒へ援助費を支給している。【市長】要保護・準用保護児童生徒へ援助費を支給している。【市長】要保護・準用保護児童生徒へ援助費を支給している。

【市長】「水に賢い子供をつくる」といってB&G財団の基本理念のもとに昭和61年から運営されている。海洋スポーツ等の専門的指導者を擁し、専門研修を受けた職員もいる。また、海洋クラブを組織し特色ある海の活動を行なっている。生月地区の社会体育のみならず各学校も利用している。これまでの反省も踏まえ、他にない優れた機能を有するこの施設の活用法を市全域で取り組みたい。

地方創生第2弾
世界遺産登録への取り組み



田島 輝美議員

世界遺産登録の推薦取り下げによる本市観光業への影響と今後の取り組みは。【市長】登録記念のシンポジウム開催経費、周知啓発用のポスター、情報発信拠

点整備、シャトルバスの運行経費等の28年度の予算計上を見送っている。引き続き、県、関係自治体と連携を図りながら取り組みたいと考えている。【市長】市民に禁教の歴史認識を持つてもらえるような取り組みが必要だと考えるが、

【市長】2年先送りになつたので、シンポジウムとか、勉強とか、あるいは学校教育も含めて歴史を学ぶ機会を

【産業振興部長】平戸式もつかる農業実現支援事業

【市長】公社の役割としては産業構造を一つの公社としてまとめ、ふるさと納税の使い道として産業振興公社のソフト部門を活用する思い切った取り組みを考えている。

危機管理について
離島における医療・福祉サービスについて
平成27年度一般質問総括について



松尾 実議員

問 去る1月24日の大雪で水道管の破裂・漏水から断水に至った経緯について尋ねる。いかなる状況下にあっても行政としての危機管理は万全でなければならぬ。自主防災組織の機能は十分に発揮されたのか。

答 【市長】断水対策として、自主防災組織で災害弱者への給水活動などに取り組んだ地区とそうでない地区があった。原因の一つとして、行政からの断水に関する情報伝達が不十分であった。また、露出した給水管の凍結・破損による漏水に伴う市内広範囲での断水と

いう状況が想定できなかった。離島における高齢者等の医療、福祉サービスに手厚い支援が必要であり、格差が生じるようなことがあってはならない。

問 【市民福祉部長】事業者がサービスを提供した際に要した渡航費の助成や、その際に生じる時間的拘束による損失補填として、介護報酬の15%を加算措置している。

問 車両についての助成がされないのは訪問看護をすすめる上で非効率的であり、今後の対策として車両の共同利用とか車両の助成等が必要ではないか。

世界遺産登録申請の取り下げと再申請について
道路改良について



川上 茂次議員

問 構成資産の見直しはあるのか。また、「平戸の聖地と集落」は残せるか。

答 【市長】イコモスと県のアドバイザー契約が必要。現在限りその価値を説明し、現在の構成資産を残せるように努力する。

問 イコモスは弾圧潜伏を指摘したが、専門委員による委員会を構成させるべきではないか。

問 「歴史文化基本構想」を進め、かくれキリシタンの資源を掘り起こし記録保持し、国交・農水・文科3官事業「歴史的風致維持向上計画歴史まちづくり計画」に繋ぎ、効果的な整備活用を図ることによって歴史を生かしたまちづくりを戦略的に推進して欲しい。

問 事業と連携を図りながら戦略的な整備・活用を図り、歴史まちづくり計画も検討する。

国の補正予算に対する本市の対応策について
農林行政について



松山 定夫議員

問 今年1月に、一億総活躍関連予算などを盛り込んだ3兆3千213億円の平成27年度補正予算が成立した。国の補正予算に伴う本市の事業について尋ねる。

答 【財務部長】平成27年度当初予算に分けています。補正予算では、情報セキュリティ緊急対策事業に4千700万円、中部中学校校舎に太陽光発電設備を設置するために4千874万5千円など、合計事業費1億1千897万9千円となっております。また、当初予算では、臨時福祉給付金給付事業に1億8千万円、畜産クラスター構築事業

に4千922万円、地籍調査事業に3千137万6千円、水産業競争力強化緊急施設整備事業に1億6千万円、合計事業費4億2千59万6千円となっております。

問 高齢化に伴う離農により、労働力不足、新規就農者の確保など厳しい状況であるが、新年度予算にどのように反映したのか。

問 肉用牛振興について今後の対応策は。

財源を示して、「保育料引き下げ」を求める
市長、市議会閉会あいさつで「引き下げ」を表明
市長の退職金・貧困問題・大雪対策なども質問



山崎 一洋議員

問 東日本大震災と東京電力の福島第一原発の事故から5年、犠牲になられた皆さんに心から哀悼の意を表する。被災者切り捨て政治は許されない。

全ての被災者が生活となりわいを再建できるまで、国と東電が責任を持って支援することを強く求める。

問 安倍内閣の経済政策アベノミクスが、国民の暮らしに大きな打撃を与えている。国会で麻生財務大臣が、消費税8%から10%への増税で国民1人当たり2万7千円、1世帯当たり6万2千円の負担増、と答弁した。

問 保育料を引き下げてほしい、という声が寄せられている。私は何度も保育料の引き下げを求めてきた。市民の声に押されて、2015年度から保育料の引き下げが行われた。私は、国の予算案が発表されると、それを勉強する。2016年度、保育料引き下げへ国が新たな措置をとることが分かった。国民の願いが国を動かしたものだ。平戸市など多くの自治体が既に実施済みの部分がある。国が負担することで、市の負担が減る。それを4月からの保育料のさらなる引き下げに充てるべきだ。

問 子どもの貧困が大きな社会問題になっている。お年寄りの皆さんの貧困も「下流老人」という言葉を生んだ。こうした社会状況の中で、市長・副市長・教育長が4年ごとに多額の退職金を受け取る。市長は1千7百万円、副市長は8百数十万円、教育長は5百数十万円に到底、市民の理解を得られるものではない。退職金の見直し、減額を行うべきだ。

世界遺産登録について
観光について
平戸市民病院について



綾香 良一議員

世界文化遺産登録の推薦取り下げが決定され、本市の3つの構成資産の再登録に向けたスケジュールを今後どのように行なっていく考えなのか。

【市長】2月9日の閣議において中間報告の指摘を踏まえた形で再推薦を行うことが最善と判断され、国内推薦を一旦取り下げることが決定された。これを受け、現在、禁教潜伏期に焦点を当てた推薦内容に見直しを行なっている。今後は、平成28年度の国内推薦、平成30年の世界文化遺産登録を目指す準備を進める。

スケジュールは、3月までに推薦書素案を文化庁へ提出、9月下旬に国内推薦候補が決定、来年1月末までに改めて推薦書を提出することになる。

戦略でも、あえて高い目標を掲げ、その目標に向かつてさまざまな施策に取り組んでいきたいと考えている。

佐世保の病院まで行かなくても手術が受けられなくなったとか、市民病院の対応が良くなった等をよく耳にするようになったが、なぜこのようになったのか。

危機管理について
土地改良区の解散について



山田 能新議員

今回の1月23日のように、寒波、大雪による水道管の破損、また、それに伴う断水のような想定もしていない事態が起きた場合の災害警戒、災害対策の体制は市としてどのよう

【市長】平戸市地域防災計画に「市長は、災害、事故が発生し、または発生する恐れがあると認めるときは、災害対策本部に円滑移行できる組織として、災害警戒本部を本庁に設置し、初動体制に万全を期すものとする」となっている。その設置については4つの前提がある。①大雨、洪水、暴風の警報が発令されたとき。②本

市に台風が接近し、本市への影響の恐れがあるとき。③震度4の地震が観測されたとき。④その他気象注意報、警報が発令され災害の発生が予想される場合のときに設置するとなっている。今回の積雪についても暴風雪警報の発令に伴い、災害警戒本部を設置したが、警戒解除とともに警戒本部を解散した。しかし、その後給水管の凍結、破損による断水が、市内広範囲に及ぶ事態となったことから、26日、断水対策に係る協議を行なった。今後は、今回の事例を教訓と

して、記録的な寒気が流れ込む情報を得た場合には、事前に災害警戒本部を設置し万全の対策で対応する。

受益者負担金の賦課金を徴収していないことや未収金の回収に必要な措置を講じていること。ここで問題なのが、土地改良区が所有している道路や水路等土地改良施設の財産処分である。道路については、市に譲渡する場合、市の規定で幅員4m未満は受け取りができない。水路についても、受益者が農業振興のための整備したものであり、市が譲渡先となるのは困難である。

浜の活力再生広域プランとは
新規就業者総合支援事業の取り組み
強い水産業づくり交付金の活用事例は



住江 高夫議員

国は地方創生の一環として数々の施策を打ち出している。水産関係では資源管理の高度化や水産物の消費・輸出拡大を図るため加工・流通・輸

出対策を実施することとしている。また、PPPの大筋合意を踏まえ、国内対策に伴う平成27年度補正予算が成立したが、その中で水産業の体質強化を目的とした施策を打ち出している。平戸市においても、それらの事業の特徴を見極めながら、効果的に活用しているものと理解しているが、前項の施策についてどのように対応しようとして

【市長】水産庁が打ち出している新規施策として「浜の活力再生広域プラン」がある。これは、漁業所得の向上を目的とし、漁村地域の活性化を目指したものである。昨年「平戸地域水産業再生委員会」を立ち上げ、計画を策定中である。本年度中に国の承認を得られる見込みであり、今後、国・県・市・漁協が連携した効果的な事業推進が期待できるものと思う。

自分達の祖父母が住んでいる地域へ移り住む孫ターンという現象が増えているようだが、本市においても平戸市出身者の子どもや孫世代に働きかける工夫が必要と考えるが。

鮮度劣化の早い水産物は厳格な鮮度管理が求められる。ところが昨年、市内の一部の漁協が氷の製造を休止したため、盛漁期において氷の供給が逼迫したが、「強い水産業づくり交付金」を活用して解消できないか。

交通網整備対策特別委員会
最終報告

(文責・松山定夫委員長)

平成27年11月20日に、伊万里・平戸・松浦市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会で九州地方整備局に対し、12月2日・3日には、地元選出国会議員、自民党本部、国土交通省、財務省に対し要望活動を実施し、今後の道路予算の安定的な財源確保

各事業区間の事業促進と早期完成を要望した。長崎、佐賀両県選出国会議員の意見交換では、両県をまたぐ三市一町が歩調を合わせ高速交通網の整備による広域的な効果を訴えることも重要であるとの意見をいただいた。西九州自動車道は、昭和62年

に閣議決定された第四次全国総合開発計画にその整備計画が盛り込まれ、以来、議会としても早期完成を目指して要望活動を続けてきたところである。最後まで事業化されていなかった松浦佐々間19・1キロメートルについては、平成26年度から事業化され、おおむね10年度の完成を目指す中で、平成27年度は10億円が予算化され用地取得にも一部着手されたところである。

浦佐々間の事業着手により、西九州自動車道150キロメートルの全線開通の見通しが立ったことは、この間、精力的に活動していただいた関係団体や市民各位、歴代の議長をはじめ議員各位、特別委員会の委員各位のご理解とご協力、そしてお力添えをいただいた地元選出国会議員各位のご尽力のたまものであり、この場を借りて厚くお礼を申し上げます。

果たすことができたことから、本特別委員会は今会期をもって解散するが、今後とも産業建設常任委員会を中心に、伊万里市議会、松浦市議会、佐々町議会と本市議会と構成する西九州自動車道建設促進協議会と連携を図りながら、事業促進と早期完成について要望活動を継続していただくようお願いし、本委員会の最終報告とする。